

平成 24 年度

事 業 報 告 書

平成 25 年 6 月

全国商工会議所女性会連合会

# 目 次

<b>1. 組 織</b> .....	<b>2</b>
(1) 会員および女性会の設置状況 .....	2
(2) 役 員 .....	5
(3) 委員会 .....	7
<b>2. 会 議</b> .....	<b>8</b>
(1) 全国大会 .....	8
(2) 理事会 .....	9
(3) 常任理事会 .....	10
(4) 会長・副会長会議 .....	11
(5) 監事会 .....	11
(6) 委員会 .....	11
(7) その他会議 .....	13
<b>3. 事 業</b> .....	<b>13</b>
(1) 組織運営の強化 .....	13
(2) 商工会議所女性会現状調査の実施.....	15
(3) 女性起業家の支援 .....	16
(4) 地球温暖化問題への対応 .....	17
(5) 広報活動の強化と交流の促進 .....	17
(6) 政策提言活動への参画.....	17
(7) 東日本大震災からの復興支援に関する調査.....	18
(8) 東日本大震災の復興支援.....	19
(9) 2020年オリンピック・パラリンピック日本招致活動の支援.....	19

# 1. 組織

## (1) 会員および女性会の設置状況

は連合会設置地区  
 は24年度全商女性連新入会員 (5)  
 ..... は24年度に設立された女性会 (0)

※女性会は、514商工会議所のうち、432商工会議所に設置（設置率：84.0%）

※全国商工会議所女性会連合会会員は、410女性会（加入率：94.9%）

平成25年3月現在

ブロック名 (設置数・率)	都道府県名 (会議所数)	女性会設置商工会議所(432)		女性会未設置 商工会議所(82)
		全商女性連会員女性会(410)	全商女性連非会員 女性会(22)	
北海道 (20/42) (47.6%)	北海道(42)	函館、小樽、札幌、旭川、釧路、帯広、北見、根室、滝川、稚内、森、富良野、遠軽、江別、浦河、苫小牧、千歳、登別、恵庭、石狩(20)		室蘭、岩見沢、留萌、網走、深川、栗山、美唄、砂川、紋別、士別、名寄、倶知安、芦別、夕張、美幌、歌志内、赤平、伊達、留辺蘂、岩内、余市、上砂川(22)
東北 (45/45) (100%)	青森(7)	青森、弘前、八戸、十和田、黒石、五所川原、むつ(7)		
	岩手(9)	盛岡、釜石、一関、宮古、花巻、奥州、北上、大船渡、久慈(9)		
	宮城(6)	仙台、塩釜、石巻、気仙沼、古川、白石(6)		
	秋田(6)	秋田、能代、大館、横手、湯沢、大曲(6)		
	山形(7)	山形、酒田、鶴岡、米沢、新庄、長井、天童(7)		
	福島(10)	福島、郡山、会津若松、いわき、白河、原町、会津喜多方、相馬、須賀川、二本松(10)		
北陸 信越 (43/49) (87.8%)	新潟(16)	新潟、新発田、新津、小千谷、加茂、五泉(6)	上越、長岡、柏崎、十日町(4)	三条、燕、糸魚川、村上、新井、亀田(6)
	富山(8)	富山、高岡、氷見、射水、魚津、砺波、滑川、黒部(8)		
	石川(7)	金沢、小松、七尾、輪島、加賀、珠洲、白山(7)		
	長野(18)	上田、長野、松本、飯田、岡谷、諏訪、下諏訪、須坂、伊那、塩尻、小諸、中野、駒ヶ根、大町、茅野、佐久、飯山、千曲(18)		

ブロック名 (設置数・率)	都道府県名 (会議所数)	女性会設置商工会議所(432)		女性会未設置 商工会議所(82)
		全商女性連会員女性会(410)	全商女性連非会員 女性会(22)	
関東 (82/102) (80.3%)	茨城(8)	水戸、土浦、古河、日立、石岡、下館、結城、ひたちなか(8)		
	栃木(9)	宇都宮、足利、小山、日光(4)	大田原(1)	栃木、鹿沼、佐野、真岡(4)
	群馬(10)	前橋、桐生、伊勢崎、太田、沼田、富岡、渋川、藤岡(8)		高崎、館林(2)
	埼玉(15)	川越、川口、熊谷、さいたま、本庄、所沢、上尾、狭山、草加、春日部、飯能(11)		秩父、行田、深谷、蕨、(4)
	千葉(21)	銚子、千葉、船橋、木更津、市川、松戸、佐原、茂原、野田、館山、八街、東金、柏、市原、習志野、成田、佐倉、八千代、浦安、君津、流山(21)		
	東京(8)	東京、武蔵野、町田(3)	八王子(1)	青梅、立川、むさし府中、多摩(4)
	神奈川(14)	横浜、横須賀、川崎、小田原箱根、平塚、藤沢、茅ヶ崎、厚木、秦野、相模原、大和、海老名(12)		鎌倉、三浦(2)
	山梨(2)	甲府(1)	富士吉田(1)	
	静岡(15)	静岡、浜松、沼津、三島、富士宮、富士、熱海、島田、藤枝、袋井(10)	焼津(1)	下田、伊東、掛川、磐田、(4)
東海 (39/49) (79.6%)	岐阜(15)	岐阜、大垣、高山、関、美濃、恵那、各務原、美濃加茂、可児(9)		多治見、中津川、神岡、土岐、瑞浪、羽島(6)
	愛知(22)	名古屋、岡崎、豊橋、瀬戸、豊川、刈谷、豊田、安城、西尾、津島、春日井、江南、小牧、犬山、東海、大府(16)	半田、一宮、稲沢(3)	蒲郡、碧南、常滑(3)
	三重(12)	四日市、津、伊勢、鈴鹿、桑名、上野、亀山、尾鷲、名張、鳥羽、熊野(11)		松阪(1)
近畿 (65/71) (91.5%)	福井(7)	福井、敦賀、武生、大野、勝山、鯖江(6)	小浜(1)	
	滋賀(7)	大津、長浜、彦根、近江八幡、八日市、草津、守山(7)		
	京都(8)	京都、舞鶴、福知山、綾部、宇治、宮津、亀岡、城陽(8)		
	大阪(20)	大阪、堺、泉大津、高槻、貝塚、泉佐野、北大阪、守口門真、箕面、和泉(10)	東大阪、岸和田、茨木、池田、高石、大東(6)	吹田、八尾、豊中、松原(4)

ブロック名 (設置数・率)	都道府県名 (会議所数)	女性会設置商工会議所(432)		女性会未設置 商工会議所(82)
		全商女性連会員女性会(410)	全商女性連非会員 女性会(22)	
	兵庫(18)	神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、伊丹、西脇、相生、三木、洲本、豊岡、高砂、龍野、加古川、加西、宝塚(16)	赤穂(1)	小野(1)
	奈良(4)	奈良、大和高田(2)	生駒、橿原(2)	
	和歌山(7)	和歌山、海南、田辺、新宮、橋本、紀州有田(6)		御坊(1)
	<b>中国</b> (45/51) (88.2%)	<b>鳥取</b> (4)	鳥取、米子、倉吉、境港(4)	
	<b>島根</b> (8)	松江、出雲、平田、益田、大田、江津(6)		浜田、安来(2)
	<b>岡山</b> (12)	岡山、倉敷、津山、玉島、玉野、児島、笠岡、井原、備前、高梁、総社、新見(12)		
	<b>広島</b> (13)	広島、尾道、福山、三原、府中、三次、竹原、東広島、廿日市(9)		呉、庄原、大竹、因島(4)
	山口(14)	下関、宇部、山口、防府、徳山、下松、萩、岩国、山陽、長門、光、小野田、柳井、新南陽(14)		
	<b>四国</b> (27/27) (100%)	<b>徳島</b> (6)	徳島、鳴門、小松島、吉野川、阿波池田、阿南(6)	
<b>香川</b> (6)		高松、丸亀、坂出、観音寺、多度津、善通寺(6)		
<b>愛媛</b> (9)		松山、宇和島、今治、八幡浜、新居浜、四国中央、西条、伊予、大洲(9)		
<b>高知</b> (6)		高知、中村、安芸、須崎、宿毛、土佐清水(6)		
<b>九州</b> (66/78) (84.6%)	福岡(19)	福岡、久留米、北九州、 <b>大牟田</b> 、飯塚、直方、八女、田川、柳川、豊前、行橋、嘉麻、筑後、宮若(14)		苅田、大川、豊前川崎、朝倉、中間(5)
	佐賀(8)	佐賀、唐津、伊万里、鳥栖、有田、小城、武雄、鹿島(8)		
	<b>長崎</b> (8)	長崎、佐世保、島原、諫早、大村、福江、平戸(7)	松浦(1)	
	熊本(9)	熊本、人吉、本渡、山鹿(4)		八代、荒尾、水俣、玉名、牛深(5)
	<b>大分</b> (10)	別府、大分、中津、日田、佐伯、津久見、豊後高田、竹田、宇佐(9)		臼杵(1)
	宮崎(9)	都城、宮崎、延岡、日向、高鍋、日南、小林、串間(8)		西都(1)
	<b>鹿児島</b> (11)	鹿児島、川内、鹿屋、枕崎、阿久根、奄美大島、南さつま、出水、指宿、いちき串木野、霧島(11)		
	<b>沖縄</b> (4)	那覇、沖縄、宮古島、浦添(4)		

(2)役員 (平成25年3月31日現在)

会長	吉川 稻	東京	商工会議所	女性会	会長
名誉会長	小泉 清子	東京	商工会議所	女性会	名誉会長
特別顧問	尾崎 公子	大阪	商工会議所	女性会	名誉会長
副会長	池上 淳子	大阪	商工会議所	女性会	会長
副会長	仁瓶 芳子	名古屋	商工会議所	女性会	会長
副会長	河原 隆子	横浜	商工会議所	女性会	会長
副会長	岡野 路子	京都	商工会議所	女性会	会長
常任理事	池上 喜重子	札幌	商工会議所	女性会	会長
常任理事	平賀 ノブ	仙台	商工会議所	女性会	会長
常任理事	畠山 笑美子	東京	商工会議所	女性会	副会長
常任理事	河内 幸枝	大阪	商工会議所	女性会	副会長
常任理事	磯田 弘子	神戸	商工会議所	女性会	会長
常任理事	高木 彬子	広島	商工会議所	女性会	会長
常任理事	吉岡 和子	高松	商工会議所	女性会	会長
常任理事	西川 ともゑ	福岡	商工会議所	女性会	会長
監事	梶 知重子	川崎	商工会議所	女性会	会長
監事	深町 宏子	北九州	商工会議所	女性会	会長
理事	小谷 真知子	旭川	商工会議所	女性会	会長
理事	元木 篤子	青森	商工会議所	女性会	会長
理事	林 晶子	盛岡	商工会議所	女性会	会長
理事	西村 悠子	秋田	商工会議所	女性会	会長
理事	井上 弓子	山形	商工会議所	女性会	会長
理事	和合 アヤ子	福島	商工会議所	女性会	会長
理事	竹林 昭代	新潟	商工会議所	女性会	会長
理事	梅田 ひろ美	富山	商工会議所	女性会	会長
理事	木下 八重子	七尾	商工会議所	女性会	会長
理事	室賀 サダ子	長野	商工会議所	女性会	会長
理事	渡邊 妙子	水戸	商工会議所	女性会	会長
理事	福田 泰子	宇都宮	商工会議所	女性部	会長
理事	楯 政江	前橋	商工会議所	女性会	会長
理事	山口 歌子	春日部	商工会議所	女性会	会長
理事	高長谷 トミ子	千葉	商工会議所	女性部	会長
理事	千葉 七枝	横浜	商工会議所	女性会	副会長
理事	鈴木 智恵子	小田原箱根	商工会議所	女性会	会長
理事	永井 愛子	甲府	商工会議所	女性会	会長

理事	河村 節子	静岡	商工会議所	女性会	会長
理事	早川 美智子	岐阜	商工会議所	女性会	会長
理事	井上 也子	名古屋	商工会議所	女性会	副会長
理事	橋本 陽子	津	商工会議所	女性会	会長
理事	大谷 君枝	福井	商工会議所	女性会	会長
理事	遠藤 糸子	大津	商工会議所	女性会	会長
理事	塚本 眞理	京都	商工会議所	女性会	副会長
理事	小野 幸親	大阪	商工会議所	女性会	副会長
理事	植村 榮子	奈良	商工会議所	女性会	会長
理事	島 和代	和歌山	商工会議所	女性会	会長
理事	川口 眞佐子	鳥取	商工会議所	女性会	会長
理事	野津 寛美	米子	商工会議所	女性会	会長
理事	山口 美紀	松江	商工会議所	女性会	会長
理事	川口 正子	岡山	商工会議所	女性会	会長
理事	田原 弘子	福山	商工会議所	女性会	会長
理事	園田 美恵	下関	商工会議所	女性会	会長
理事	高橋 信子	徳島	商工会議所	女性会	会長
理事	守谷 みどり	松山	商工会議所	女性会	会長
理事	土ヶ内 美智子	高知	商工会議所	女性会	会長
理事	平田 総子	飯塚	商工会議所	女性会	会長
理事	古賀 トシ子	佐賀	商工会議所	女性会	会長
理事	井石 八千代	長崎	商工会議所	女性会	会長
理事	西村 まりこ	熊本	商工会議所	女性会	会長
理事	梅野 朋子	別府	商工会議所	女性会	会長
理事	今川 敦子	大分	商工会議所	女性会	会長
理事	小金丸 和代	宮崎	商工会議所	女性会	会長
理事	宮之原 清子	鹿児島	商工会議所	女性会	会長
理事	鈴木 啓子	那覇	商工会議所	女性会	会長

(任期：平成22年11月18日～平成25年10月31日)

(3) 委員会 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

○総務委員会 (委員総数 18 名)

委員長	池上 淳子	大阪	商工会議所	女性会	会長
副委員長	平賀 ノブ	仙台	商工会議所	女性会	会長
〃	西川 ともゑ	福岡	商工会議所	女性会	会長

○政策委員会 (委員総数 16 名)

委員長	河原 隆子	横浜	商工会議所	女性会	会長
副委員長	畠山 笑美子	東京	商工会議所	女性会	副会長
〃	高木 彬子	広島	商工会議所	女性会	会長

○広報委員会 (委員総数 12 名)

委員長	岡野 路子	京都	商工会議所	女性会	会長
副委員長	池上 喜重子	札幌	商工会議所	女性会	会長
〃	磯田 弘子	神戸	商工会議所	女性会	会長

○企画調査委員会 (委員総数 12 名)

委員長	仁瓶 芳子	名古屋	商工会議所	女性会	会長
副委員長	河内 幸枝	大阪	商工会議所	女性会	副会長
〃	吉岡 和子	高松	商工会議所	女性会	会長



## 2. 会 議

### (1) 全国大会

#### ○第44回北九州全国大会

日 時：平成24年10月5日（金）14:30～16:30

場 所：西日本総合展示場（福岡県北九州市）

出席者：約2,750名（309女性会）

次 第：（1）開会

（2）全国商工会議所女性会連合会旗入場

（3）国歌斉唱

（4）「商工会議所女性会の歌」斉唱

（5）「商工会議所女性会活動指針」唱和

（6）物故者への黙祷

（7）主催者挨拶

全国商工会議所女性会連合会 会長 吉川 稲

日本商工会議所 会頭 岡村 正

北九州商工会議所女性会 会長 深町 宏子

北九州商工会議所 会頭 利島 康司

（8）来賓挨拶

福岡県知事 小川 洋 氏

北九州市長 北橋 健治 氏

経済産業省 九州経済産業局長 廣實 郁郎 氏

（9）来賓紹介

（10）役員紹介

（11）出席女性会紹介

（12）第11回女性起業家大賞授賞式

（13）全国商工会議所女性会連合会表彰授与式

（14）次回（第45回）全国大会について

（15）次回開催地女性会への全国商工会議所女性会連合会旗引渡し

（16）閉会

#### 概 要

冒頭、主催者を代表して、吉川稲会長は、北九州北部豪雨をはじめとする災害の被災者にお見舞いの言葉を述べるとともに、地域を越えた「交流の輪」である女性会のネットワークの力が東日本大震災の「被災地への大きな支援」につながったことを紹介。「女性らしい感性と特性を活かし、豊かな発想力と行動力をもって、被災地の早期復興や地域、日本の再生に貢献したい」と語った。また、2020年のオリンピックの日本招致について、全国民が心を奮い立たせる「共通の目標」であり、世論の盛り上がるためには女性のパワーが不可欠であると呼びかけた。

続いて日本商工会議所の岡村正会頭の挨拶を中村専務理事が代読。「キラリと光る感性を生かして行動力を発揮し、商工会議所の諸活動に新たな発想や活力を与えていただきたい」と述べた。

引き続き、開催地である北九州商工会議所女性会の深町宏子会長と北九州商工会議所の利島康司会頭が歓迎の挨拶を述べた。次に、来賓挨拶として、小川洋福岡県知事、北橋健治北九州市長、廣實郁郎九州経済産業局長が祝辞を述べた。また、お祝いメッセージ（内閣総理大臣野田佳彦氏、自由民主党総裁 安倍晋三氏、東京都知事 石原慎太郎氏：いずれも当時）が披露された。

その後、全国大会のクライマックスである「出席女性会紹介」において、都道府県毎に、女性会メンバーにスポットライトが当てられ、それぞれ思い思いのパフォーマンスが繰り広げられた。

その後、「第11回女性起業家大賞」の表彰式が行われ、最優秀賞（日本商工会議所会頭賞）を受賞された辻友美子さん（（株）ユミコーポレーション代表取締役）、および優秀賞（全国商工会議所女性会連合会会長賞）をスタートアップ部門で受賞された西村美也子さん（（株）福祉ネットサービス代表取締役）、グロース

部門で受賞された村田早耶香さん（特定非営利活動法人かものはしプロジェクト代表理事）に、それぞれ表彰状と副賞が贈られた。

続いて行われた「全国商工会議所女性会連合会表彰授与式」では、特別功労者42人、会員増強など組織強化に取り組んだ11女性会が表彰されたほか、「個として光る」女性会事業表彰の最優秀賞（日本商工会議所会頭賞）には、観音寺女性会（香川県）が輝いた。同女性会は、幅広く教養を身につける機会を設けるため「TOMORROW委員会」を設置し、平成13年から年間4回の講座を10年にわたり継続。ヨガやストレッチ、歯科衛生指導などの健康管理から、料理、絵手紙などの趣味、経済・経営学、婚活イベントなど多様な講座を開講し、のべ約1,000名が受講している。さらに、ワンコイン（500円）の受講料で、会員に加え市民にも門戸を広げ、女性会の認知度向上や会員増強、市民との交流拡大に寄与していることが高く評価された。

優秀賞（全国商工会議所女性会連合会会長賞）には、君津女性会（千葉県：グリーン・カーテン・プロジェクト）と高知女性会（四国八十八カ所へんろ道案内のための「平成の道しるべ」建立事業）が表彰され、会長特別賞には、上野女性会（三重県：地域資源を活かした地域PR事業）が表彰された。

最後に、次の開催地である宮城県商工会議所女性会連合会の会員が揃って登壇し、平賀ノブ会長が東日本大震災からの復興に対する支援へのお礼を述べるとともに、「復興した姿を見に来てほしい」と参加を呼びかけた。その後、連合会旗が吉川会長から平賀会長に引き渡され、全国大会を終了した（次回は平成25年9月5日～6日仙台市体育館（宮城県仙台市）で全国大会を開催）。

また、全国大会終了後、株式会社安川電機の代表取締役会長である利島康司氏による「北九州発！グローバル会社のロボット会長奮闘記」と題した記念講演会が行われた。

## 【備考】

全国大会に先んじて開催された理事会で事務局から2020年第32回オリンピック・パラリンピック日本招致活動に関連して「招致支援ボランティアの募集について」の説明があり、募集を呼びかけるチラシを北九州全国大会参加者に配布した。また、410女性会の会長については、全国商工会議所女性会連合会事務局で一括でボランティア登録をし、後日、特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会の石原慎太郎会長（当時）から、オリンピック招致支援ボランティアに委嘱された。（参考資料3参照）

## (2) 理事会

### 第1回

日 時：平成24年7月2日（月）17:00～18:00

場 所：キャリアック 第11・12研修室（静岡県浜松市）

出席者：73名

議 事：（1）平成23年度事業報告書（案）および収支決算（案）について  
（2）平成24年度委員会活動について  
（3）東日本大震災に係る会費減免（案）について  
（4）平成24年度第3回目の理事会について  
（5）平成25年度以降の総会・全国大会日程（案）について  
（6）第44回全国商工会議所女性会連合会北九州全国大会について  
（7）平成24年度全国商工会議所観光振興大会について  
（8）日本商工会議所第116回通常会員総会・会員大会について  
（9）2020年第32回オリンピック競技大会の招致について  
（10）その他

### 第2回

日 時：平成24年10月5日（金）13:00～14:00

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 3階 エンパイア（福岡県北九州市）

出席者：111名

- 議 事：(1) 第44回全商女性連北九州全国大会について  
(2) 平成24年度全国商工会議所女性会連合会表彰被表彰者（案）について  
(3) 第11回「女性起業家大賞」受賞者について  
(4) 2020年第32回オリンピック・パラリンピックの日本招致活動について  
(5) 平成25年3月開催の理事会（福島）について  
(6) その他

#### 【備考】

事務局から2020年第32回オリンピック・パラリンピック日本招致活動に関連して「招致支援ボランティアの募集について」の説明があった。410女性会の会長については、全国商工会議所女性会連合会事務局で一括でボランティア登録をすることになり、後日、特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会の石原慎太郎会長（当時）から、オリンピック招致支援ボランティアに委嘱された。また、同ボランティア募集を呼びかけるチラシは、北九州全国大会参加者に配布した。（参考資料3参照）

#### 第3回

日 時：平成25年3月4日（金）15：30～16：30

場 所：ホテル辰巳屋 8階「瑞雲の間」（福島市）

出席者：105名

- 議 事：(1) 平成25年度事業活動計画（案）および収支予算（案）について  
(2) 平成25年度の委員会活動計画（案）について  
(3) 第44回全国商工会議所女性会連合会北九州全国大会の報告について  
(4) 第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会（9月5日～6日）の概要について  
(5) 平成25年度第21期役員改選について  
(6) 2020年オリンピック・パラリンピック日本招致について  
(7) その他

※全国の女性会による東日本大震災からの復興支援の気持ちをより強く打ち出すため、福島商工会議所女性会（和合アヤ子会長）の協力の下、参加対象を役員および役員が所属する女性会の副会長1名（オブザーバー出席）とする「拡大理事会」として開催した。

#### (3) 常任理事会

##### 第1回

日 時：平成24年7月2日（月）14:30～15:20

場 所：キャリアック 第10研修室（静岡県浜松市）

出席者：21名

- 議 事：(1) 平成23年度事業報告書（案）および収支決算（案）について  
(2) 東日本大震災に係る会費減免（案）について  
(3) 平成24年度第3回目の理事会について  
(4) 平成25年度以降の総会・全国大会の日程（案）について  
(5) その他

##### 第2回

日 時：平成24年10月5日（金）11:30～12:30

場 所：リーガロイヤルホテル小倉 4階 サファイヤ（福岡県北九州市）

出席者：27名

- 議 事：(1) 第44回全国商工会議所女性会連合会北九州全国大会について  
(2) 平成24年度全国商工会議所女性会連合会表彰被表彰者(案)について  
(3) 第11回「女性起業家大賞」受賞者について  
(4) 2020年第32回オリンピック・パラリンピック日本招致活動について  
(5) 平成25年3月開催の理事会(福島)について  
(6) その他

### 第3回

日 時：平成25年3月4日(月) 14:30～15:20

場 所：ホテル辰巳屋 8階「瑠璃の間」(福島市)

出席者：24名

- 議 事：(1) 福島メッセージ(仮称)について  
(2) 平成25年度事業活動計画(案)および収支予算(案)について  
(3) 平成25年度の委員会活動計画(案)について  
(4) 平成25年度年間行事予定表等について  
(5) 第45回全国商工会議所女性会連合会宮城全国大会(9月5～6日)の概要について  
(6) 平成25年度第21期役員改選について  
(7) その他

#### (4) 会長・副会長会議

日 時：平成24年7月2日(月) 13:00～14:15

場 所：キャリアック 第1研修室(静岡県浜松市)

出席者：12名

- 議 事：(1) 商工会議所女性会表彰の審査について  
(2) その他

#### (5) 監事会

日 時：平成24年7月2日(月) 14:30～15:00

場 所：キャリアック 第8研修室(静岡県浜松市)

出席者：5名

- 議 事：(1) 平成23年度事業報告書(案)の監査について  
(2) 平成23年度収支決算(案)の監査について

#### (6) 委員会

##### <総務>

日 時：平成24年7月2日(月) 15:30～16:30

場 所：キャリアック 特別会議室(静岡県浜松市)

出席者：25名

- 議 事：(1) 全国商工会議所女性会連合会への加入勧奨について  
(2) 第44回全国商工会議所女性会連合会北九州全国大会について  
(3) その他

##### <政策>

日 時：平成24年7月2日(月) 15:30～16:30

場 所：キャリアック 第9研修室(静岡県浜松市)

出席者：20名

- 議 事：(1) 環境問題の取り組みについて  
(2) 2020年オリンピック・パラリンピック日本招致に向けた取り組みについて  
(3) その他

#### <広報>

- 日 時：平成24年7月2日（月）15:30～16:30  
場 所：キャリアック 第3研修室（静岡県浜松市）  
出席者：9名  
議 事：(1) 商工会議所女性会の周知・広報活動について  
(2) その他

#### <企画調査>

- 日 時：平成24年7月2日（月）15:30～16:30  
場 所：キャリアック 第4研修室（静岡県浜松市）  
出席者：14名  
議 事：(1) 第11回女性起業家大賞について  
(3) 東日本大震災における復旧・復興に向けた各地女性会の支援について  
(4) その他

#### <総務・政策・広報・企画調査合同委員会（被災地商工会議所女性会との懇談会）>

- 日 時：平成25年3月4日（月）16:45～18:15  
場 所：ホテル辰巳屋8階「瑞雲の間」（福島市）  
出席者：107名

- 議 事：(1) 開会  
(2) 発表者紹介  
(3) 被災地の現状と課題について  
①ご高話「復興の現状と課題」  
復興庁 参事官 中石 齊孝 氏  
②ご挨拶  
福島県 副知事 内堀 雅雄 氏  
③被災3県内の商工会議所女性会のご発言  
岩手県商工会議所女性会連合会 林 晶子 会長  
宮城県商工会議所女性会連合会 平賀 ノブ 会長  
福島県商工会議所女性会連合会 和合 アヤ子 会長  
(4) 各地女性会の復興支援活動について  
①事務局説明  
②復興支援活動の事例発表  
前橋商工会議所女性会 楯 政江 会長  
大津商工会議所女性会 遠藤 糸子 会長  
(5) 懇談  
(6) 総括  
(7) 閉会

岩手県連・林晶子会長（盛岡女性会会長）のご説明の中で「奇跡の一本松保存募金」（岩手県陸前高田市）について言及があったことから、急遽、同募金に対する協力の提案がされ、同日の懇親会において、賛同者から17万7千円の募金を頂戴し、吉川稲会長から林晶子会長に贈呈し、林晶子会長から謝意が述べられた。（3月12日、林会長をはじめ、岩手県連・田村福子副会長（大船渡女性会会長）、岩手県連・村井朋子理事（盛岡女性会副会長）、

岩手県連・福成菜穂子理事（釜石女性会副会長）の4名で、陸前高田市役所を訪問し、戸羽太市長に募金額の全額を贈呈した。）

また、懇談においては、神戸・磯田弘子会長から、阪神・淡路大震災の時の教訓を踏まえたご発言があった。最後に、吉川稲会長の総括として、東日本大震災の記憶を風化させることのないよう、今後とも被災地の復興と福島の再生に向け、商工会議所・青年部や関係団体と連携しながら、多岐にわたる支援を継続することを誓う「福島メッセージ」の採択が提案され、承認された。

### （7）その他会議

#### <第11回「女性起業家大賞」本審査会>

日 時：平成24年8月21日（火）12:00～15:00

場 所：日本商工会議所 会議室A（東京商工会議所ビル6階）

出席者：15名

- 議 事：（1）「第11回女性起業家大賞」の応募状況について  
（2）審査委員の採点結果と受賞者（案）について  
（3）審査（意見交換）  
（4）受賞者決定  
（5）各審査委員による所感

## 3. 事業

### （1）組織運営の強化

#### ①全商女性連未加入女性会への加入：

加入勧奨の結果、以下の5女性会の加入があった（加入女性会数：410女性会、加入率：94.9%）。

- 大牟田商工会議所女性会（福岡県）
- 大和商工会議所女性会（神奈川県）
- 厚木商工会議所女性会（神奈川県）
- 桑名商工会議所女性部（三重県）
- 飯能商工会議所女性会（埼玉県）

#### ②表彰：

「全国商工会議所女性会連合会表彰規則」に基づき、以下のとおり表彰を行った。

「第2条特別功労者表彰」42名、「第3条第1項組織強化（会員増強）表彰」11女性会、「第3条第2項「個として光る」事業活動表彰」4女性会には、10月5日に開催した北九州全国大会で表彰状を授与した。また、「第4条各地女性会の活動に功労」17名は、全国商工会議所女性会連合会会長と各地女性会会長との連名表彰であるため、各地女性会で表彰状を授与した。

#### 【第2条 特別功労者表彰】42名（敬称略）

函館	商工会議所女性会	前会長	齋藤 光子
弘前	商工会議所女性会	会長	葛西 キミエ
盛岡	商工会議所女性会	前副会長	志和 敬子
花巻	商工会議所女性会	前会長	小瀬川 陽子
久慈	商工会議所女性会	副会長	葛巻 寿美子
仙台	商工会議所女性会	副会長	松澤 夫佐子
古川	商工会議所女性会	会長	曾根 りん子
山形	商工会議所女性会	前会長	高橋 壽子
会津若松	商工会議所女性会	前会長	若狭 照子
小山	商工会議所女性経営者会	前会長	慶野 悦子
さいたま	商工会議所女性会	前会長	小山 静江

甲府	商工会議所女性会	前会長	伊藤 洽子
静岡	商工会議所女性会	前会長	松岡 仁代
静岡	商工会議所女性会	前副会長	田辺 すみゑ
静岡	商工会議所女性会	前副会長	田辺 康子
名古屋	商工会議所女性会	前会長	加藤 あつこ
鈴鹿	商工会議所女性部	前会長	向井 なよ子
亀山	商工会議所女性部	前会長	太田 幸子
近江八幡	商工会議所女性会	前会長	随井 佳子
堺	商工会議所女性会	前会長	佐野 明子
神戸	商工会議所女性会	会長	磯田 弘子
海南	商工会議所女性会	前会長	坂本 美代子
海南	商工会議所女性会	前副会長	川端 皖
田辺	商工会議所女性会	副会長	中根 輝子
松江	商工会議所女性会	前会長	西川 房
松江	商工会議所女性会	前副会長	大内 順子
玉島	商工会議所女性会	前会長	西井 桂子
玉島	商工会議所女性会	前副会長	小幡 初代
玉島	商工会議所女性会	前副会長	塚本 文子
玉野	商工会議所女性会	前会長	三宅 信子
井原	商工会議所女性会	前会長	原田 美津子
下関	商工会議所女性会	前会長	友田 幸
柳井	商工会議所女性会	前会長	都野 晴美
鳴門	商工会議所女性会	前会長	岡田 弘子
今治	商工会議所女性会	副会長	小林 明美
高知	商工会議所女性会	前副会長	横山 佳代子
福岡	商工会議所女性会	前会長	山本 千鶴子
飯塚	商工会議所女性会	会長	平田 総子
行橋	商工会議所女性会	会長	瓦川幸子
伊万里	商工会議所女性会	前副会長	井手 千代
宮崎	商工会議所女性会	前会長	高柳 節子
小林	商工会議所女性会	会長	満森 けい子

【第3条第1項 組織強化表彰】 11 女性会

秋田商工会議所女性会  
 金沢商工会議所女性会  
 小松商工会議所女性会  
 七尾商工会議所女性会  
 木更津商工会議所女性会  
 四日市商工会議所女性部  
 草津商工会議所女性会  
 松江商工会議所女性会  
 井原商工会議所女性会  
 高知商工会議所女性会  
 那覇商工会議所女性会

【第3条第2項 事業活動「個として光る」事業表彰】 4 女性会

最優秀賞 観音寺商工会議所女性会 会員・市民に向けた講座の運営  
 優秀賞 君津商工会議所女性会 グリーン・カーテン・プロジェクト

優秀賞	高知商工会議所女性会	四国八十八ヵ所へんろ道案内のための 「平成の道しるべ」建立事業
会長特別賞	上野商工会議所女性会	地域資源を活かした地域PR事業

【第4条 各地女性会の活動に功労】17名（敬称略）

山形商工会議所女性会	元会長	本郷 和枝
山形商工会議所女性会	元会長	本田 孝子
山形商工会議所女性会	元副会長	石山 圓子
山形商工会議所女性会	元理事	坂部 かの
山形商工会議所女性会	元理事	庄司 志満子
山形商工会議所女性会	元理事	中村 幸子
会津若松商工会議所女性会	理事	畔越 百合香
会津若松商工会議所女性会	理事	加藤 宜子
横浜商工会議所女性会	監事	藤本 正子
名張商工会議所女性会	元会長	的場 多賀子
名張商工会議所女性会	元会長	福田 敬子
名張商工会議所女性会	元会長	宮崎 和子
鳥取商工会議所女性会	元会長	常田 明美
松江商工会議所女性会	元副会長	永江 文枝
松江商工会議所女性会	元副会長	野口 勝代
延岡商工会議所女性会	元会長	石淵 照子
延岡商工会議所女性会	元理事	有田 信子

**(2) 商工会議所女性会現状調査の実施**

隔年で行っている各地女性会の現状に関する現状調査を実施した。調査項目は、下記の通り。

【組織】

1. 総会員数
2. ブロック別会員数 一覧表（全商女性連会員・非会員合計）
3. ブロック別会員比率
4. ブロック別会員数 棒グラフ（全商女性連会員・非会員合計）
5. Eメール・ホームページ開設
6. 代表者の呼称
7. 業種別会員数
8. 一女性会あたりの会員数
9. 女性会会員と商工会議所との関係
10. 入会資格の有無
11. （入会資格ありの場合）入会資格

【会費・財政】

12. 年間会費
13. 入会金の有無
14. （入会金ありの場合）入会金額
15. 役員会費の有無
16. （役員会費ありの場合）役員会費額（会長、副会長、その他の役員）
17. 予算額（平成24年度）
18. 予算額における商工会議所等からの補助金の割合（平成24年度）



## 【事業】

19. 重点事業（平成24年度）
20. 「東日本大震災」に対する取り組み
21. 会報の発行状況
22. 女性会等と商工会議所との関係／【位置付け】
23. 女性会等代表者として常議員会・議員総会への出席について
24. 女性会等代表者として議員への就任
25. 会計への位置づけ
26. 「環境問題」に対する取り組み
27. 「教育問題」に対する取り組み
28. 会員勧誘の活動について
29. 会員増強の活動について
30. 好評なサービスについて

### (3) 女性起業家の支援

わが国の経済活力を強化していくために、柔軟性と機動性を持つ女性の社会への積極的な参画が期待されており、創業という観点からも女性企業家が担う社会的役割は非常に大きなものとなっている。

こうした中、女性の視点で、革新的・創造的な創業や経営を行い、事業を成功させている女性起業家を顕彰し奨励・支援することを目的として、「第11回女性起業家大賞」を実施した（応募件数：スタートアップ部門23件、グロース部門15件）。受賞者は、以下のとおり。

#### 【第11回女性起業家大賞受賞者】

##### ◆最優秀賞（日本商工会議所会頭賞）1名

辻 友美子 氏

株式会社ユミコーポレーション 代表取締役

- ・介護福祉事業（通所介護、居宅介護支援、訪問介護、福祉用具貸与、福祉用具販売、住宅改修）など

##### <スタートアップ部門（創業5年未満）>

##### ◆優秀賞（全国商工会議所女性会連合会会長賞）1名

西村 美也子 氏

株式会社福祉ネットサービス 代表取締役

- ・介護事業（脳トレつきデイサービス、居宅介護支援事業所、宅老所（宿泊施設））

##### ◆奨励賞（全国商工会議所女性会連合会企画調査委員長賞）2名

岡崎 美紀子 氏

株式会社カエルカンパニー 代表取締役

- ・飲食店コンサルタント業、店舗プロデュース業

石頭 悦 氏

株式会社幸呼来 Japan 代表取締役

- ・障害福祉サービス事業、就労継続支援A型事務所、裂き織り製品製造・販売

##### ◆特別賞（『女性起業家大賞』審査委員会委員長賞）1名

堀江 由香里 氏

NPO法人 ArrowArrow 代表理事

- ・女性社員向け研修事業「社員！Shine！」
- ・企業向け産育休取得サポートプログラム「産休！Thankyou！」

## <グロース部門（創業5年以上10年未満）>

### ◆優秀賞（全国商工会議所女性会連合会会長賞）1名

村田 早耶香 氏

特定非営利活動法人かものはしプロジェクト 代表理事

- ・カンボジアの子供達が未来に希望を持てるようにするための活動

### ◆奨励賞（全国商工会議所女性会連合会企画調査委員長賞）2名

田中 知世子 氏

ピースクルーズ株式会社 代表取締役社長

- ・介護サービス業、訪問介護・居宅支援・通所介護・福祉用具貸与・販売・有料老人ホーム・教育講座

三澤 澄江 氏

株式会社柚子 代表取締役

- ・ゆず味噌「柚子」をはじめ柚関連商品の製造販売

### ◆特別賞（『女性起業家大賞』審査委員会委員長賞）2名

松原 律子 氏

有限会社スマイルサービス 代表取締役

- ・老人福祉事業、通所介護・居宅介護支援事業・訪問介護、サービス付き高齢者住宅
- ・福祉タクシー、介護タクシー事業

金森 福子 氏

金森韓国語・中国語教室 代表

NPO 日中韓虹のかけはしAKITA 会長

- ・韓国語、中国語教室を管理・運営
- ・その他NPO活動として国際交流、観光案内、秋田のPRなど

## (4) 地球温暖化問題への対応

環境問題への取り組みとして、小さな一歩が大きくなうねりとなるように、まずは自分達が具体的に行動していくといった観点で平成22年の宮崎全国大会から始めた懇親会への「マイ箸」持参を平成24年度も引き続き実施した。

また、小学生に環境問題について考える機会を提供し、併せて、その家族、ひいては広く国民全体が「環境・エネルギー問題」に対する認識を深め、問題解決に向けた行動を促すため、各地女性会（連合会）が実施する作文・絵画コンクールに対し、表彰状を贈呈した。なお、平成19年度から、日商会頭・各地商工会議所会頭連名賞が設置されている。

（贈呈女性会数14カ所）

<作文部門> 日商会頭・各地商工会議所会頭連名賞1点 全商女性連会長・単会女性会会長連名賞4点

<絵画部門> 日商会頭・各地商工会議所会頭連名賞12点 全商女性連会長・単会女性会会長連名賞30点

## (5) 広報活動の強化と交流の促進

女性会に対する理解の促進、単会の組織強化に寄与するため、「商工会議所女性会パンフレット」を作成し、頒布（実績96カ所、6,005冊）するとともに、女性会活動の活性化を図るため、日本商工会議所が発行する「石垣（月刊誌）」「会議所ニュース（旬刊紙）」、全国商工会議所女性会連合会のホームページでの記事掲載等を通じて、各地女性会活動の広報に取り組んだ。

## (6) 政策提言活動への参画

日本商工会議所の政策提言活動において、女性経営者の視点・意見を発信するため、専門委員会（教育、地

域活性化、中小企業政策、観光) に参画した。

また、「“日本の未来” 応援会議～小さな企業が日本を変える～ (略称: “ちいさな企業” 未来会議) (共同議長: 枝野幸男経済産業大臣 (当時)、岡村正日本商工会議所会頭) に参画した。

## (7) 東日本大震災からの復興支援に関する調査

「仙台アピール」(平成 24 年 3 月採択) を受けて、各地女性会が実施した支援活動について調査した。

調査期間: 平成 25 年 1 月 8 日 (火) ～ 2 月 1 日 (金)

回答率: 85% [349 女性会 / 410 女性会 (全商女性連会員)]

実施率: 41% [142 女性会 / 349 女性会]

### 【結果のポイント】

#### (1) 被災地産品の販売 (お祭りやイベント等でのブースの出店)

- 東北物産品の販売 (女性会ブロック大会)
- 東北物産品の販売 (地元のお祭りやイベント)
- 福島物産品の販売 (地元のお祭りやイベント)
- 福島県産品・観光PR事業「ふくしま IN 神楽坂」を開催。

#### (2) バザーや募金等を通じた義援金の寄付

- ふれあいバザー
- チャリティイベント (コンサート、朗読会、ボーリング)
- 総会、新年会等で義援金募金の実施 (被災地へ寄付)
- アルミ缶回収による収益金の一部を寄付
- 女性会の地区に移住してきた母子被災者の託児サービスを行っている団体に寄付

#### (3) 被災地産品の購入

- 福島の桃やりんごの購入案内を会員向けに実施。
- 会員が、市場を通じて、サクランボを購入。
- 被災地特産品の購入
- 視察研修旅行のイベント用に被災地物産品を購入
- 被災地のNPO等が作ったクリスマスのオーナメント等の購入

#### (4) 被災地訪問

- 被災地女性会との交流会、視察研修
- 被災地支援お買い物ツアー
- 被災地観光旅行
- 全商女性連拡大理事会の際に、近隣を訪問
- 親会 (商工会議所) と合同で、被災地視察研修

#### (5) 被災地の観光PR

- 会員の集いで、東北六県の観光ブースを設置、観光大使のPR、DVD上映等

#### (6) その他支援

- 女性会の地区で避難生活を送っている家庭に、お菓子セットを寄贈
- 心の支援として、地元行政と提携関係にある被災市在住の被災遺児・孤児 (18 歳以下) 一人ひとりに、メッセージカードと手作りマスコットを 3 月に送付
- 平成 25 年 9 月の宮城全国大会に大勢で参加する予定

## **(8) 東日本大震災の復興支援**

電力使用抑制に対応するため、より一層の「徹底した節電のご協力」「LED照明など省エネ型製品への買い替え」を、各女性会を通じて呼びかけた。

北九州全国大会において、復興支援として、東北の特産品を販売するブース（「みちのく夢プラザ（北東北三県（青森県・岩手県・秋田県）のアンテナショップ」が出店）を設けた。

また、3月4日に拡大理事会を、福島市で開催。同日に開催した「被災地商工会議所女性会との懇談会」で岩手県連・林晶子会長（盛岡女性会会長）から「奇跡の一本松保存募金」の説明があったことから、急遽、同募金に対する協力の提案がされ、その後の懇親会において、賛同者から17万7千円の募金を集めた。（後日、林会長をはじめとする岩手県連女性会役員4名が陸前高田市役所を訪問し、戸羽太市長に募金額の全額を贈呈した。）

さらに、吉川稲会長から、同懇談会の総括として、東日本大震災の記憶を風化させることのないよう、今後とも被災地の早期復興と福島の再生に向け、商工会議所・青年部や関係団体と連携しながら、多岐にわたる支援を継続することを誓う「福島メッセージ」の採択が提案され、承認された（参考資料1参照）。

## **(9) 2020年オリンピック・パラリンピック日本招致活動の支援**

2020年オリンピック・パラリンピックの日本招致に向け、各地女性会が支持率アップを目指して、より一層、積極的に活動していくためのツールとしてPRチラシを作成し、頒布した（参考資料2参照）。

また、10月5日に開催した北九州全国大会で2020オリンピック・パラリンピック招致支援ボランティアを募るチラシを配布し、招致支援ボランティアへの参画を呼び掛けた。410女性会の会長については、全国商工会議所女性会連合会事務局で一括登録をし、後日、特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会の石原慎太郎会長（当時）から、オリンピック招致支援ボランティアに委嘱された。（参考資料3参照）

**東日本大震災からの早期復興に向けて  
～全国商工会議所女性会連合会「福島メッセージ」～**

全国商工会議所女性会連合会は、「がんばろう東北」の思いを込めて、昨年度に引き続き拡大理事会等を東北ブロックで開催しました。開催地の福島商工会議所女性会の特段のご協力に、感謝申し上げます。

全国各地から参集した役員は、被災地の現状と課題を伺い、復興に向けた各地女性会の支援活動をお聞きしました。東日本大震災から2年が経過しようとしています。被災地の復興は遅れていること、特に、福島県内は依然厳しい状況が続いていること、また震災の風化が懸念されていることなどを確認しました。

これまで、全国の女性会は、「仙台アピール」（平成24年3月）を踏まえ、イベント・バザーでの被災地産品の販売や義援金の呼びかけ、被災地の観光PR、被災地への視察・観光や被災地での消費等をはじめとする様々な支援を行いました。

私たち女性会は、震災を風化させることのないよう、今後とも、被災地の復興と福島の再生に向け、商工会議所・青年部や関係団体と連携しながら、下記をはじめとする多岐にわたる支援を継続します。

記

(被災地の復興に向けて<福島を含む>)

- 被災地の物産品を販売するイベントの企画・運営
- 被災地での会議・イベント・視察の企画・参加および被災地での消費
- 東北まつりネットワークのPR支援 (<http://www.tohokumatsuri.jp/spring.html>)
- 全商女性連宮城全国大会（9月5日～6日／仙台）への従来以上の出席
- 被災地企業・団体の販路拡大・取引拡大の呼びかけ

(福島再生に向けて)

- 福島県産品に対する正しい理解への普及・啓発
- 福島県産品の購入および購入の呼びかけ
- 福島県PRの場の提供
- 福島県への視察・観光の呼びかけと訪問、修学旅行など学習観光の勧奨
- 「六魂祭」（6月1日～2日／福島）への参加

～引き続き 被災地を元気にする 温かな支援活動の継続を  
どうぞ皆様 よろしく願い申し上げます～

平成25年3月4日 福島市  
全国商工会議所女性会連合会

【参考資料2】

東京商工会議所女性会 / 東京2020オリンピック招致委員会



次世代を担う子ども達に、夢と希望を。

## 2020年 第32回オリンピック・パラリンピック 日本招致を実現へ

**日本招致を  
東北復興・日本再生の起爆剤に!!**  
今年中に支持率アップが目標!!  
平成25年目標に20%以上の支持率増進を予定  
（平成24年10月現在）

**女性層で盛り上げよう!!**  
私たちの生活の中で、積極的に日本招致について話題を  
挙げていきます。  
応援サイト「次世代を担う子ども達に夢と希望を」  
<http://tokyo2020.jp>  
① 携帯Tokyo2020.jp  
② facebook.com/tokyo2020.jp

**女性層の意識**  
小中学生の親世代がオリンピックを盛り上げる活動の大切さを  
意識するようになり、TVの番組や行事をきっかけに招致の話題  
が身近な話題になり、話題を創出した。両親や学校の先生から  
「アスリート」に興味を持ち、両親や先生から「アスリート」に興味  
を持ち、親に話しかけて話を聞いてほしいと、子ども達に話を聞  
きたいという声が多く聞かれています。招致活動の重要性を、女性  
層に伝えることが、招致活動の重要なポイントです。

東京商工会議所女性会が中心となり、  
「次世代を担う子ども達に夢と希望を」を  
テーマとした、女性層に向けた招致活動の  
推進を図ります。招致活動の重要性を、  
女性層に伝えることが、招致活動の重要な  
ポイントです。

TEL: 03-3561-1111 FAX: 03-3561-1112  
<http://www.tokyo2020.jp>

東京商工会議所女性会 / 東京2020オリンピック招致委員会

次世代を担う子ども達に夢と希望を

## 2020年第32回オリンピック・パラリンピック 日本招致を実現へ

**日本招致を  
東北復興・日本再生の起爆剤に**  
今年中の支持率アップが目標  
平成25年目標に20%以上の支持率増進を予定  
（平成24年10月現在）

**今年中に女性層で盛り上げよう**  
私たちは会合の中で、  
積極的に日本招致について  
話題に挙げていきます。

主催者 / 次世代を担う子ども達に夢と希望を  
<http://tokyo2020.jp>  
① 携帯Tokyo2020.jp ② facebook.com/tokyo2020.jp

■ 招致活動の進捗に関する現状

東京	47%
大阪府	73%
マレーシア	78%
インドネシア	33%

■ 招致活動の目標

約23億9,600億円  
（東京2020オリンピック大会開催費用）

■ 招致活動の人数

約152,000人  
（東京2020オリンピック大会開催費用）



■ 招致活動の重要性

オリンピックは、世界に日本の魅力を伝える絶好の機会です。また、オリンピックは、日本の経済を活性化させる重要な役割を果たします。また、オリンピックは、日本の文化や伝統を世界に紹介する絶好の機会です。また、オリンピックは、日本の未来を明るく照らす重要な役割を果たします。

東京商工会議所女性会が中心となり、  
「次世代を担う子ども達に夢と希望を」を  
テーマとした、女性層に向けた招致活動の  
推進を図ります。招致活動の重要性を、  
女性層に伝えることが、招致活動の重要な  
ポイントです。

TEL: 03-3561-1111 FAX: 03-3561-1112  
<http://www.tokyo2020.jp>

【参考資料3】

  
 TOKYO ● 2020  
 CANDIDATE CITY  


**委 嘱 状**

東京商工会議所女性会  
会長 吉川 裕 様

2020年のオリンピック・パラリンピック大会を  
日本で開催できるよう、招致活動をより多くの方に  
知っていただくとともに、支援していただくため、  
「東京2020オリンピック・パラリンピック招致支援  
ボランティア」に委嘱します。

委嘱期間：委嘱の日から平成25年9月7日まで

平成 年 月 日

特定非営利活動法人  
東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会  
会長 石原 伸 様

商工会議所女性会会員 各位

全国商工会議所女性会連合会

平素より、商工会議所女性会の諸活動に際し、多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび、下記の件につき、周知依頼がまいりましたので、ご案内いたします。

全商女性連では、昨年10月の浜松大会において、「2020年第32回オリンピック・パラリンピック競技大会の招致に関する決議」を全会一致で採択し、日本への招致活動に取り組んでいるところです。

つきましては、日本招致の実現が、次世代を担う子ども達に夢と希望を与え、東北復興・日本再生の起爆剤となるよう、下記をご高覧のうえ、よろしければご応募いただければ幸いです。なお、女性会会長につきましては、当連合会事務局にて一括登録をさせていただきますので何卒ご了承願います。

(本件担当) 全国商工会議所女性会連合会事務局 (日本商工会議所総務部) TEL : 03-3283-7829

## 2020 オリンピック・パラリンピック招致支援ボランティアの募集について

東京は、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の立候補都市として、イスタンブール(トルコ)、マドリッド(スペイン)とともに選定されたところです。2020年開催都市は、2013年9月7日にブエノスアイレス(アルゼンチン)で開催されるIOC(国際オリンピック委員会)総会において決定されます。

オリンピック・パラリンピック招致気運を醸成し、招致活動をより多くの方々に知っていただくとともに、招致活動を支援していただくため、「東京2020オリンピック・パラリンピック招致支援ボランティア」を募集します。

招致支援ボランティアは、委嘱された皆様の自主的な活動により、招致気運の醸成にご協力いただくという制度です。

※活動例) 御家族、御友人などに対し、オリンピック・パラリンピック招致の応援について、口頭、メールなどで話をしていただき、招致気運を盛り上げていただく等

### ○招致ボランティアの役割等について

- ・招致支援ボランティアは、あくまで自主的な招致支援活動を行うものです。(ボランティア活動に伴う費用等については負担致しません。)
- ・招致ボランティアになっていただいた方には、委嘱状をお渡しするとともに、招致気運醸成のためご活用いただくため1人につき50個のバッジを配布します。
- ・委嘱状を、上記使用目的以外の目的で使用することはできません。
- ・委嘱状は、権利や身分を証明するものではありません。
- ・委嘱状の氏名、日付はご自身でご記入願います。

### ○申込み方法

- ・招致ボランティアの趣旨にご賛同いただき、ご協力いただける場合、下記の情報を記入し、10月17日(水)までに、e-mailまたはFaxにてお送り願います。

<必要記入事項> (フォーマットは特にございませぬ)

- ①商工会議所女性会名、②氏名、会社・団体名、③委嘱状・バッジ送付先住所、
- ④電話番号及びe-mailアドレス

※標題に「招致応援ボランティア登録希望」と明記してください。

【申し込み先・問合せ先】

東京都スポーツ振興局招致推進部招致推進課 担当：大成、原

<e-mail> Mai\_Onari@member.metro.tokyo.jp

<FAX> 03-5388-1227 <TEL> 03-5388-2885

以上